

奈良町フォーラム

分科会：五感によるまちづくり

主催：奈良まちづくりセンター 協賛：奈良デザイン協会

日時：平成 16 年 11 月 20 日(土) 午後 1 時から午後 4 時 30 分

会場：奈良町物語館(奈良市中新屋町 2 - 1 0742(26)3476

内容：美しい風景景観は人間のこころを癒すものである。ところが奈良町(旧奈良市内)の景観は、一部の神社仏閣を除き、近代素材の建築物、車、看板などによって年々悪化している。景観は元来、色や形状などの視覚で評価してきたが、嗅覚や聴覚、触覚など五感で感じたらどうなるのだろうか。子供たちの遊ぶ声、庭木の香り、土の感触など奈良らしい景観は存在するのだろうか。分科会では実際に町を歩いて実感、五感調査シートとカメラで景観を採集する。ワークショップの後は奈良町景観再生について、参加者全員で語る。歴史的都市景観の再生は緊急的課題である。どのような方法で景観再生を行うことができるかを検討し、景観まちづくりへの提言をまとめる。

内容： 進行：横井紘一/上嶋晴久(奈良まちづくりセンター)

- 1、分科会ガイダンス
- 2、奈良町の景観の現状について
- 3、ワークショップ「五感で感じる町歩き」
奈良町、三条通、興福寺・飛火野付近 参加者全員
- 4、みんなで語ろう 「奈良町景観再生」参加者全員で
- 5、まとめ 奈良町景観再生 提言メッセージ

ワークショップ「五感で感じる町歩き」



- 第一班
興福寺・飛火野付近
 - 第二班
三条通
 - 第三班
奈良町
- 3 班に分かれ街を歩き
視覚(色、形、素材)、聴覚、嗅覚、
触覚別に景観を診る
五感調査シート記入
デジタルカメラで撮影

(参考)奈良町の景観の現状について 横井紘一(奈良まちづくりセンター、信州大学)

・景観調査における対象地

旧奈良町(平城京外京として栄えた地域、現在の奈良市の東部地区)の15箇所を選定。

奈良公園(飛火野) 春日大社 高畑町住宅地 東大寺二月堂裏参道 きたまち手貝町:
奈良県庁周辺 興福寺境内 猿沢池周辺 奈良町中新屋町 三条通り 近鉄奈良駅前
法蓮町南町 JR奈良駅前 新大宮周辺 県道大安寺周辺

・調査結果

視覚「色」 =

奈良町は参道敷石などの鼠系 22 箇所(29.3%)、町屋などの茶系 16 箇所(21.3%)及び奈良公園などの緑系 15 箇所(20.0%)の3色によって構成(構成比 70.6%)されており、高層で面積の大きいビルの白色系 12%、看板の赤系 6.7%が近代人工色の突出色として目立っている。

視覚「形」 = 「奈良町景観視覚・形—面積の大きい形—上位5位」

1位 = 道路(10箇所) 2位 = 商業ビル(6箇所) 3位 = 看板(5箇所) 4位 = 石畳、階段(4箇所) 5位 = 芝生公園、民家商家(3箇所)

視覚「素材」 = 「奈良町景観視覚・素材—面積の大きい素材上位5位」

1位 アスファルト(9箇所) 2位 コンクリート(7箇所) 3位 木材(7箇所)
4位 石(6箇所) 5位 鉄製パネル建材 ガラス 樹木 瓦(5箇所)

特徴的な素材は、灯籠の石、町屋の木材、屋根瓦、芝生・土、土塀。アスファルト、コンクリートの近代人工物素材が42.7%。

聴覚 = 「奈良町景観聴覚-上位5位」

1位 観光客などの人声(12箇所) 2位 車騒音(11箇所) 最高81dB 3位 奈良公園などの鳥の鳴き声(5箇所) 4位 鹿の鳴き声、石畳玉砂利、信号音(4箇所)

特徴的な聴覚は、鹿の鳴き声、木々のそよぐ音、玉砂利、参道石畳の踏音、鐘音だが車騒音(最高81dB)をほとんど地域で確認。

嗅覚 = 「奈良町景観嗅覚-上位5位」

1位 排気ガス(7箇所) 2位 木々、芝生の香り(6箇所) 3位 鹿の糞(5箇所)
4位 土塀の匂い(2箇所) 4位 ゴミ(2箇所)

車の排気ガスがトップ。嗅覚なしは19箇所(42.2%)。

触覚 = 「奈良町景観触覚上位5位」

1位 アスファルト(10箇所) 2位 参道石歩道、階段(5箇所) 3位 土(3箇所)
4位 芝生(2箇所) 5位 土壁、葉さわり、柱(2箇所)

特徴的な触覚は、参道敷石、土、葉さわり、芝生。特徴なしが調査地点の6割。

五感で診た奈良町景観の課題

1、近代人工色が突出色 2、近代構造物形状が蔓延 3、近代人工建材物が約4割 4、車の騒音全地域で自然系音を圧迫 5、香りのない町 身体全体で感じられる自然系触覚を。

五感を複合化した奈良町らしい独自景観

五感による特徴的景観を複合化した結果

「奈良町らしい独自景観を保持上位5位」

1) 興福寺南円堂付近 2) 奈良公園 3) 春日大社 4) 二月堂裏参道 5) 高畑町住宅地
興福寺周辺は視覚(色、形、素材)だけではなく、聴覚(奈良町全体に響き渡る鐘の音など)や触覚(石畳など)、嗅覚(お線香など)五感全体で景観を形成している。

「奈良町らしい独自景観を保持下位5位」

1) 新大宮通り(新大宮駅周辺) 2) 県道大安寺周辺 3) 近鉄奈良駅前 4) 三条通(南都銀行本店周辺) 5) 手貝門周辺

下位は新大宮、県道大安寺周辺は五感の独自景観を有していない。